

長崎県感染症発生動向調査速報（週報）

2024年第33週 2024年8月12日（月）～2024年8月18日（日）2024年8月22日作成

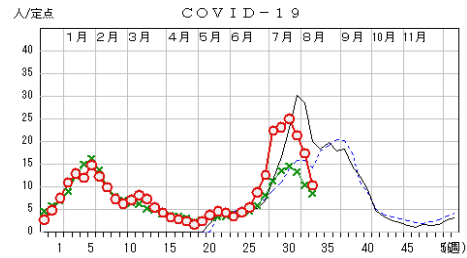
☆定点[※]報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患）の発生状況

（1）新型コロナウイルス感染症

第33週の報告数は720人で、前週より447人少なく、定点当たりの報告数は10.29であった。

年齢別では、80歳以上（105人）、70～79歳（104人）、60～69歳（102人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、対馬保健所（23.00）、壱岐保健所（21.67）、上五島保健所（21.00）であった。

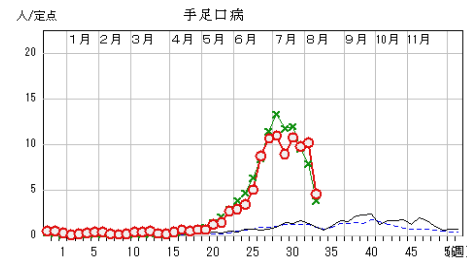


（2）手足口病

第33週の報告数は203人で、前週より237人少なく、定点当たりの報告数は4.61であった。

年齢別では、1歳（58人）、3歳（36人）、2歳（30人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、西彼保健所（9.00）、佐世保市保健所（5.83）、長崎市保健所（5.50）であった。

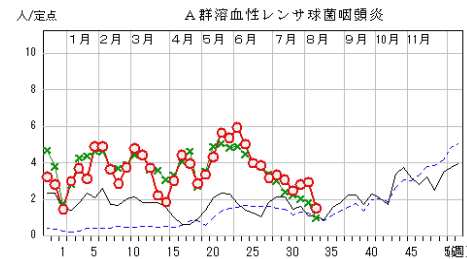


（3）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

第33週の報告数は67人で、前週より60人少なく、定点当たりの報告数は1.52であった。

年齢別では、4歳（11人）、5歳（10人）、9歳（8人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、県南保健所（7.20）、対馬保健所（4.50）、西彼保健所（2.25）であった。



○ 当年(長崎県) — 前年(長崎県)
 × 当年(全国) - - - 前年(全国)

※インフルエンザ/COVID-19定点数：70、小児科定点数：44、眼科定点数：8、基幹定点数：12

☆上位3疾患の概要

【新型コロナウイルス感染症】

第33週の報告数は720人で定点当たり報告数は10.29となり、3週続けて減少しました。地区別に見ると、対馬地区（23.00）、壱岐地区（21.67）、上五島地区（21.00）は他の地区より多くなっています。2023年に全国ではお盆明けに患者数の増加が見られましたので、今後も動向に注意しましょう。

本疾患の主な症状は、発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状で、主に飛沫感染や接触感染により感染します。場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

【手足口病】

第33週の報告数は203人で、前週より237人少なく、定点当たり報告数は4.61でした。前週より減少しましたが、警報終息基準値「2.0」を上回っており、9週続けて警報レベルの報告数となっています。地区別にみても、五島地区、壱岐地区をのぞく地区で警報レベルが継続しています。

本疾患は、口腔粘膜および四肢末端に現れる水疱性発疹を特徴とする乳幼児に多いウイルス性疾患です。感染経路は、糞口感染、飛沫感染で水疱内容液からも感染します。手洗い、うがいを励行し、感染防止に努めましょう。原因ウイルスの種類によっては手足口病とともに無菌性髄膜炎や脳炎を併発させることもありますので、早めに医療機関を受診しましょう。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

第33週の報告数は67人で、前週より60人少なく、定点当たりの報告数は1.52でした。地区別にみると県南地区（7.20）は、警報レベルの報告数となっています。今後も予防に努めましょう。

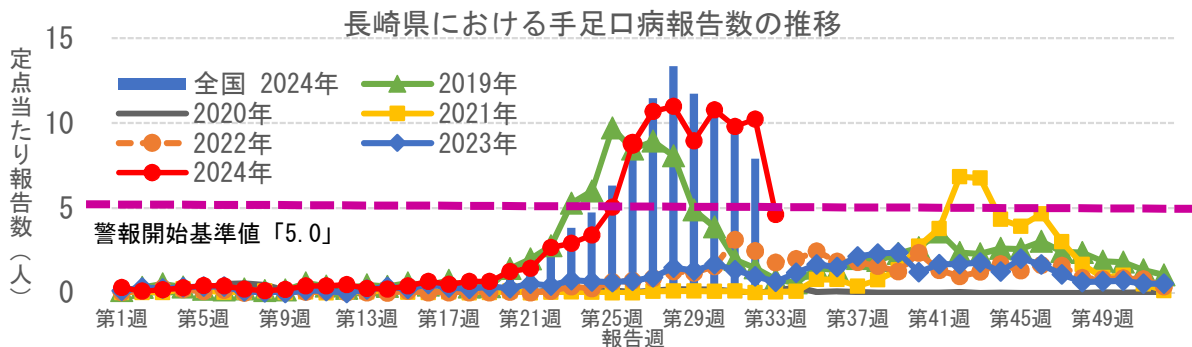
本疾患の好発年齢は5歳から15歳で、鼻汁、唾液中のA群溶血性レンサ球菌を含む飛沫などによってヒトからヒトへ感染します。また、食品を介しての経口感染もあります。潜伏期間は約1日から4日で、突然の発熱（高熱）、咽頭痛、全身倦怠感、時に皮疹もあります。急性期患者の感染力は強いですが、適切な抗菌薬の投与により、多くは1日から2日後には症状も消失し、感染力も著しく低下します。不十分な治療は無症状保菌者を生じやすいため、早めに医療機関を受診するとともに、手洗いを励行し、感染防止に努めましょう。

★トピックス：手足口病が流行しています

手足口病は、四肢および口腔内に水疱性の発疹を生じる疾患です。主として咳やくしゃみなどのしぶきを介した飛沫感染や、飛沫や便に含まれるウイルスが手指を介して口から侵入する接触感染により広がります。基本的には予後良好な疾患ですが、原因ウイルスによっては、中枢神経系合併症などのほか、心筋炎、急性弛緩性麻痺などの多彩な臨床症状を併発することがあります。

長崎県の第33週の定点当たり報告数は「4.61」で、過去10年で最長の9週間、警報レベルの報告数が継続しています。地区別でも、10保健所のうち、五島、壱岐を除く8保健所で警報レベルの報告数となっています。

今後も手洗い、うがいを励行し、感染防止に努め体調管理に気をつけましょう。

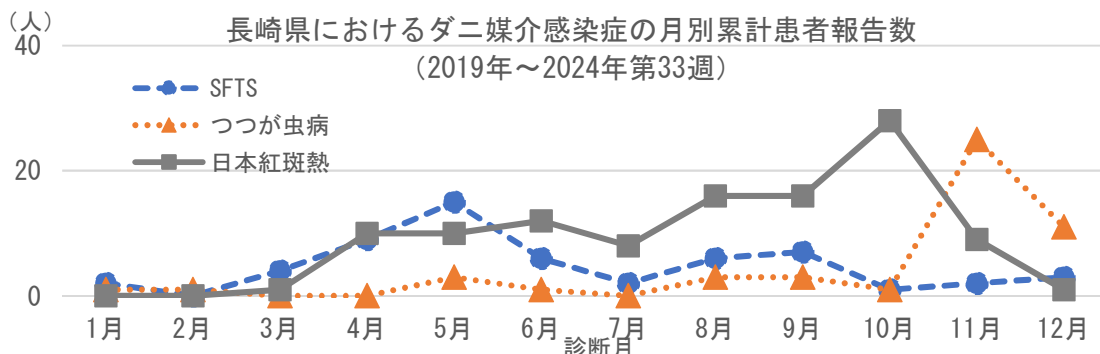


★トピックス：マダニやツツガムシの活動が活発な時期です。ご注意ください！

マダニ類やツツガムシ類は、野生動物が出没する環境に多く生息しているほか、民家の裏山、裏庭、畑やあぜ道などにも生息しています。マダニ類は、日本紅斑熱や重症熱性血小板減少症候群（SFTS）などを媒介し、ツツガムシ類はその名のとおりつつが虫病を媒介します。

春から秋（3月から11月）にかけては、マダニ等の活動が活発になる時期です。特に日本紅斑熱は、過去5年において、8～10月に患者が多く報告されています。

マダニ等が媒介する感染症の予防には、ダニに咬まれないことが重要です。野外で活動する際は、長袖、長ズボン、長靴を着用するなどして肌の露出を極力避け、マダニに有効な虫よけ剤を使用して感染防止に心がけましょう。



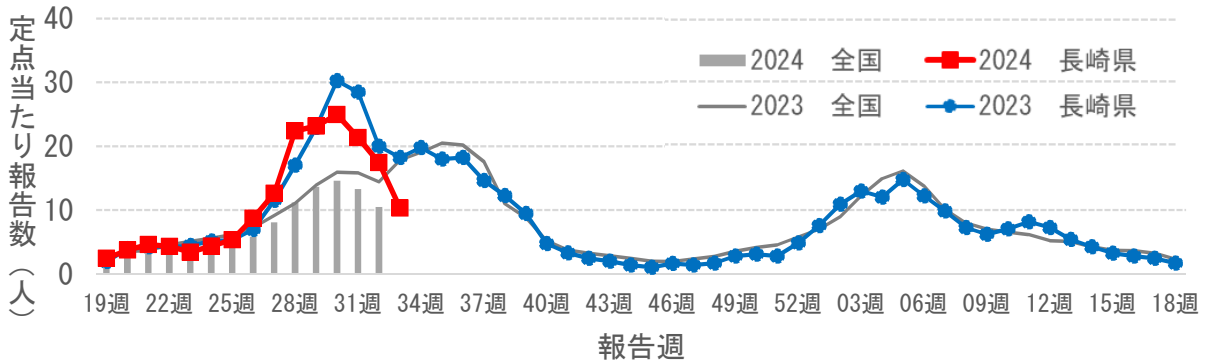
☆トピックス：新型コロナウイルス感染症に注意しましょう

新型コロナウイルス感染症の長崎県における第33週の定点当たり報告数は「10.29」で、3週続けて減少しました。地区別にみても、多くの地区で前週より減少しています。

報告数は減少が続いていますが、2023年に全国ではお盆明けに患者数の増加が見られましたので、今後も引き続き注意が必要です。場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

(参考) 長崎県地域保健推進課 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う協力依頼について
<https://www.pref.nagasaki.jp/press-contents/678137/index.html>

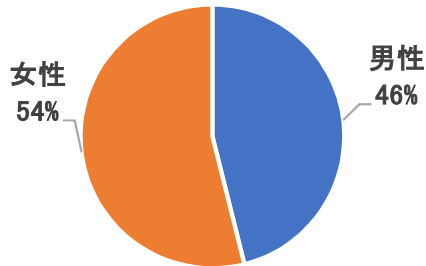
新型コロナウイルス感染症 定点当たり報告数推移



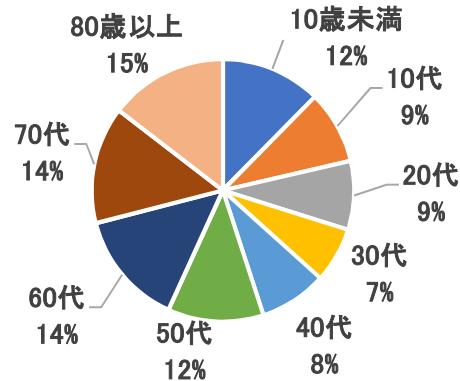
新型コロナウイルス感染症の保健所別報告数

	長崎県	佐世保市	長崎市	壱岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬
報告数	720	67	125	65	42	85	124	42	38	63	69
定点数	70	11	17	3	6	11	8	4	4	3	3
定点当たり報告数	10.29	6.09	7.35	21.67	7.00	7.73	15.50	10.50	9.50	21.00	23.00

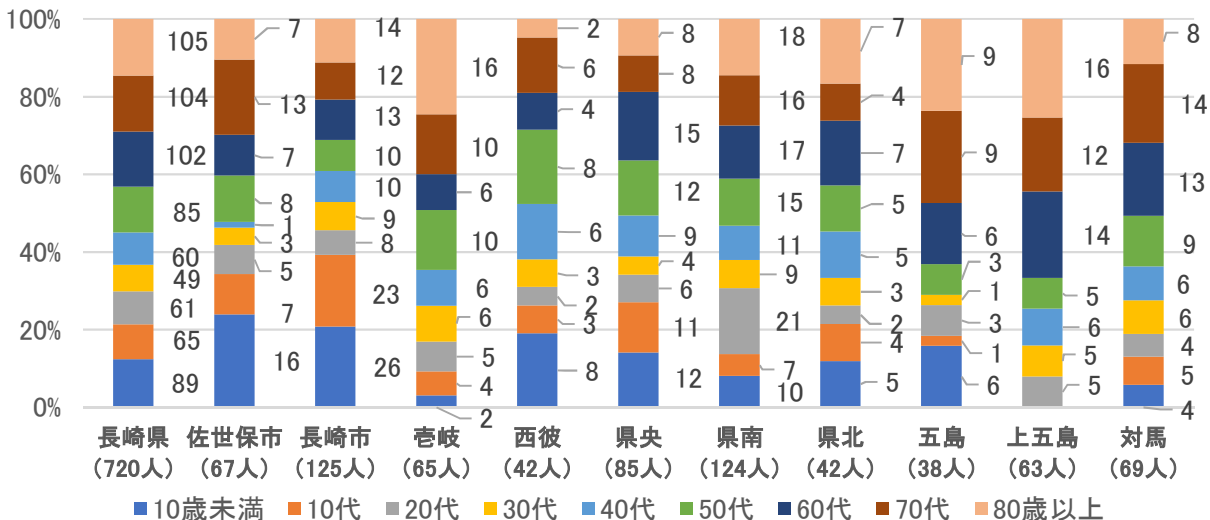
性別割合



年代別割合



保健所別年代別報告数



◆全数届出の感染症

- 2類感染症：結核 患者 男性（20代・1名、30代・1名、80代以上・1名）
- 3類感染症：報告なし
- 4類感染症：報告なし
- 5類感染症(全数把握対象)：カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 患者 女性（80代以上・1名）

◆定点把握の対象となる5類感染症

(1) 疾病別・週別発生状況 (第28～33週、7/8～8/18)

疾患名	定点当たり患者数					
	28週	29週	30週	31週	32週	33週
	7/8～	7/15～	7/22～	7/29～	8/5～	8/12～
インフルエンザ	0.56	0.13	0.26	0.23	0.16	0.13
新型コロナウイルス感染症	22.40	23.13	24.94	21.34	17.42	10.29
RSウイルス感染症	6.34	4.26	4.93	5.36	3.33	1.25
咽頭結膜熱	0.30	0.28	0.39	0.50	0.51	0.30
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	3.32	3.07	2.48	2.80	2.95	1.52
感染性胃腸炎	1.45	0.88	0.95	0.98	1.56	0.57
水痘	0.23	0.16	0.18	0.11	0.02	0.09
手足口病	10.98	8.95	10.77	9.80	10.23	4.61
伝染性紅斑（リンゴ病）						0.02
突発性発しん	0.16	0.21	0.20	0.23	0.21	0.23
ヘルパンギーナ	0.84	0.53	0.70	0.68	0.35	0.32
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.02		0.05		0.12	0.02
急性出血性結膜炎						0.13
流行性角結膜炎	1.00	0.38	0.38	0.75		0.13
細菌性髄膜炎						
無菌性髄膜炎		0.08		0.08		
マイコプラズマ肺炎	0.33	0.58	1.08	1.00	1.92	0.67
クラミジア肺炎（おたふく病は除く）						
感染性胃腸炎（ロタウイルス）						

(2) 疾病別・保健所管内別発生状況 (第33週、8/12～8/18) ※赤字：警報レベル、青字：注意報レベル

疾患名	定点当たり患者数（県・保健所管轄別）										
	県	佐世保市	長崎市	壱岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬
インフルエンザ	0.13	0.36	0.06			0.18	0.13	0.25			
新型コロナウイルス感染症	10.29	6.09	7.35	21.67	7.00	7.73	15.50	10.50	9.50	21.00	23.00
RSウイルス感染症	1.25	0.67	0.90	3.00	2.75	1.14	1.80	2.00	0.67		
咽頭結膜熱	0.30	0.67				0.29	0.80	0.33	0.67		
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	1.52	0.33	0.40	1.00	2.25	0.57	7.20		0.33		4.50
感染性胃腸炎	0.57	1.17	0.40	1.00		0.14	0.60	2.67			
水痘	0.09		0.10	0.50	0.25			0.33			
手足口病	4.61	5.83	5.50	1.00	9.00	5.14	2.20	2.33	1.33	4.50	4.00
伝染性紅斑（リンゴ病）	0.02						0.20				
突発性発しん	0.23	0.33	0.10	0.50	0.25		0.20	1.00		0.50	
ヘルパンギーナ	0.32		0.40		0.25	0.43	0.40	0.33	0.33		1.00
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.02					0.14					
急性出血性結膜炎	0.13		0.33								
流行性角結膜炎	0.13						1.00				
細菌性髄膜炎											
無菌性髄膜炎											
マイコプラズマ肺炎	0.67	1.00	0.67		2.00	2.00		1.00			
クラミジア肺炎（おたふく病は除く）											
感染性胃腸炎（ロタウイルス）											